



木造新校舎への登校坂は粘土状の凹凸坂道で雨天や雪解け時は歩行が困難であり履き物は汚れた。(昭和40年頃)



大倉校舎で使って居た自分の机や椅子を汗だくで急ごしらえの登校道を新校舎教室まで運び上げた。そして昭和38年2学期早々新校舎で授業が始まった。(昭和38年夏休み)



昭和35年から自衛隊の機動力による平田高校新校舎建築造成作業が始まり昭和38年春、現在の旧体育館北側に完成した。(昭和38年春)



大林寺うしろ山より見下ろした平田中学校。向こうは中ノ島地区。右端下の校舎は米子市大篠津にあった旧日本軍の兵舎を移築したもの。当時は島根県簸川郡平田町灘分村組合立平田中学校と称した。(昭和24年)



昭和30年頃愛宕山に相撲場が完成した。当時東京大相撲平田場所が開かれ、旧平田市内の小学校上級生や中学生は授業を返上して相撲見物だった。現在の相撲場は同じ位置にある。(昭和30年頃)

# 暁 星

第39号  
21.9.25

発行  
島根県立平田高等学校  
暁星会  
印刷  
(有)西村印刷

## 初秋を迎えて想う事



暁星会 会長  
田 中 久 雄

異常気象による日照り不足は盆まで続いた。

中ノ島商業施設から常緑樹に囲まれる平田高校の白い校舎は四季を通して見飽きる事がない。校舎の窓から見下ろす出雲平野の四季の移ろいのパノラマは校歌に余す所なく描写され、教育環境としても県下のトップクラスである。昨

春赴任された多久和実校長先生は本校第二十期生で、以前の原周弘校長先生は第五期卒業生で、それ以来久々の暁星会会員の校長先生を迎え親しみを禁じ得ない。

現在平田高校の大学進学率は県下でも上位で、部活動も九〇%の生徒が入部し、柔道・卓球・陸上・放送の各部は平成二十年度に栄光の記録をとどめた。文武両道に励む五〇〇名の生徒であると聞く。特筆に値する事は、陸上部女子が県高校駅伝競走で見事優勝し、県代表として昨年十二月女子全国高校駅伝競走大会に出場し、京都の都大路を力走したことである。N

HKT Vで全国に中継され、平田高校のゼッケンを胸に全員立派に走り終えた姿は、万感胸に迫るものがあった。感激した。この件に対し、暁星会員の皆様には物心両面で身に余る声援を戴いた。心から御礼申し上げたい。

さて、校長室に三条実美(さねとみ)の揮毫が扁額に大書し、彫刻してある。それは「琢玉成器」。高校創立以来九〇余年間にわたり発展を見守った。三条実美は明治維新の元勳で尊王攘夷運動の先頭に立ち、維新以後は太政大臣に就任し、当時の内閣発足には大勲位公爵(こうしやく)となった。一八九一年他界した。三条家は京都に邸宅があった。これは藤原氏より分家した家名である。平田高校の登校坂を登り終えた右側の石碑にも琢玉成器の文字が見える。琢玉成器は学徳を励み修める事。世の古今東西を問わず実に深淵な言葉である。



校長 多久和 実

『はじめに』

暁星会員の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

今年の夏は当地出雲も梅雨明けが八月になってからであり、例年の夏よりずいぶん気温も低く過ごしやすかった反面、作物の生育はじめるいろいろなどところで大きな影響がでております。皆様にとっての夏は如何でしたでしょうか。

さて、本校は大倉校舎からこの愛宕校舎に移って四十六年になりますが、先般ふと思立って愛宕山に登りました。展望台になっている千崎城趾から南面し、斐川平野に滔々と流れる斐伊川のもとに広がる平田市街地等を一望できる眺めに、久方ぶりいや三十年ぶりのあまりの身近の故に訪れることなく過ぎていたことを思いつつ、緑豊かで自然に溢れ、恵まれた学校環境であることに今更ながら感じいり、「ふるさととはよきものかな」との感を深くしました。

生徒諸君にこの地でしっかりと学び、活動し、体験しそれぞれの素晴らしい人生に向けての足がかりをしっかりと固めて貰いたいと強く感じました。

『学校近況』

学校の近況の一端を紹介します。女子

陸上部は県高校駅伝競走大会で堂々の大会新記録で初優勝を飾り、昨年暮れの十二月二十一日、都大路を青い「平田高校」

のネームプレイトを胸に、懸命な力走をしてくれました。当日はテレビによる全国放送もあり、西京極競技場にお出かけ頂いた多くの方々のみならず、テレビに映し出される平田高校選手に感激をしたとお便りなど多く寄せて頂きました。出場にあたり皆様から多くの募金を賜りましたこと重ねて御礼申し上げます。また、本年三月には男子柔道部は部員の憧れである、武道館で行われた全国高校柔道選手権大会への出場を果たし、さらにこの夏の奈良県で行われた全国高校総体に女子団体と、個人の男子三名、女子三名が県大会優勝者として出場しました。全国の強豪相手に堂々の平田高校柔道を示してくれました。他の部活動においても生徒諸君は黙々と取り組み、文武両道を目指し学習に生徒会活動に、あるいはボランティア活動にと取り組んでくれています。

『耐震工事』

昭和三十七年竣工の通称「旧体育館」の耐震工事が本年六月に始まり十一月まで行われます。授業はもとより屋内の部活動に欠かせない体育館です。床等もなみうつところもあり、耐震工事にあわせて床の張り替えもして貰うことになりました。およそ半年間使用できない訳です

『先輩』

が、工事終了後は安全・快適な空間となることを期待し、こころばらくは新体育館でのみの活動となっています。

九月に平高祭を行いました。昨年は本校第三十一期卒業の小片悦子さんと「安来のおじ」とによる、「トーク&ライブ」をお願いしましたが誠に好評でありました。本年度は映画「白い船」でお馴染みの本校第三十一期卒業の錦織良成さんの監督作品「うん、何？」の上映とあわせ錦織監督からの「先輩へのメッセージ」をいただきました。

「しまねの教育の日」(毎年十一月上旬)の行事として毎年講演会を実施していますが、本年はNPO法人NICE (ナイス、日本国際ワークキャンプセンター、東京都新宿区)の事務局長である本校第五十一期の上田英司さんを講師に予定しています。昨年度は山陰中央新報社報道部主幹・編集委員兼論説委員であります第二十一期の岡部康幸さんをお願いしました。平高時代の話から始まり、学園紛争のはなやかに

しころの大学時代や山陰中央新報社時代のそれぞれの思い出に残る人や本との出会いを語って頂きました。いろいろな分野での本校卒業生の活躍を目の当たりに出来ることは在校生への大きな刺激と励ましとなっています。最後になりましたが、会員の皆様は母校への教育活動へのご協力を感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援とご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

栄光の記録 (全国大会出場)

- 柔道部** 全日本柔道選手権大会 (21年3月)
  - 男子団体出場
  - 全国高校総体 (21年8月)
    - 女子団体出場
    - 男子個人 (60kg石飛祐、73kg飯塚佑、81kg湊哲哉) 3名出場
    - 石飛祐 ベスト16
    - 女子個人 (57kg高尾有美、63kg松下結、78kg永瀬愛) 3名出場
- 陸上部** 全国女子高校駅伝 (20年12月)
  - (来海りえ、角 香並、金折沙耶、長瀬夕美子、伊藤由季子、津田優香)
  - 58チーム中40位

9月3日(木)から5日(土)にかけて「One Heart Big Power ～すべてをかけるその瞬間(とき)に～」をテーマに平高祭が行われました。1日目と2日目の文化祭では、錦織良成監督(平田高校出身)の作品「うん、何?」の上映、2年生による「プレゼンテーションコンテスト」、「10ミニッツ・ショートフィルムコンテスト」、1年生による「合唱コンクール」、文化部の作品展示や発表、平田一式飾りの展示、クラス展示、ミュージックフェスティバル、素人名人会など、様々な催しを行いました。3日目の体育祭は、多くの保護者の方も来て頂き、生徒と共に各競技や応援合戦で盛り上がりました。

生徒一人ひとりが準備や練習に励み、たくさんの力で素晴らしい平高祭を開催することができました。

# 学 園 祭



クラス展示



ザ・プレゼン



体育祭



平田一式飾り 直江兼続



合唱コンクール

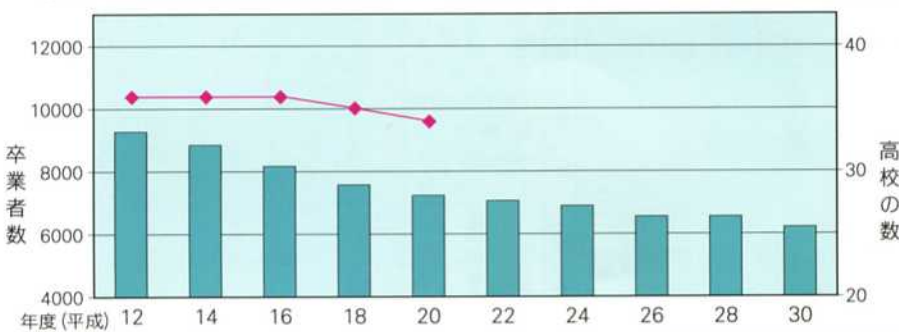


体育祭 選手宣誓

## クラス増について

### 中学校卒業生数と県立高校校数の推移

(平成21年度以降は、小中学校の在籍者数による予測。高校数は生徒募集を行う高校)



年度	H11	H12	H14	H16	H18	H20	H22	H24	H26	H28	H30
中学校卒業生数	9,770	9,310	8,901	8,239	7,677	7,165	7,101	6,830	6,566	6,544	6,131
高校数	36	36	36	36	35	34					

今年度の県立高校再編成によって、平成21年度入学生は1クラス増の5クラスになりました。県内では本校以外に、松江東高校が1クラス増の7クラス、松江商業高校が1クラス増の7クラスという状況です。

平成11年度から始まった学校再編によって各校の募集人数が減らされる中において、出雲地区では本校のみクラス増であり、いかに平田高校が地域の学校として期待されているかが分かります。

平成17年度に4クラスとなって以来の5クラスを今後も継続できるように魅力ある学校作りに努めていきたいと思っております。

# 県高校総体成績 男女総合 第14位 (Aグループ25校中)

**9年連続敢闘賞受賞**

## 《陸上競技部》

女子 女子総合：5位  
100m：6位、800m：4位、1500m：2 (大会新)・4位、  
3000m：1・3位、走幅跳：4位 (6位までが中国大会出場)

## 《剣道部》

男子 団体 1回戦 平田2-0出雲西、  
2回戦 平田0-2松江東 個人 ベスト32  
女子 個人 ベスト32

## 《柔道部》

男子 男子総合：1位、男子団体：2位  
団体 2回戦 平田4-1松江農林、  
準々決勝 平田5-0三刀屋、  
準決勝 平田2-1松江北、  
決 勝 平田1-1開星 (代表戦で敗退)  
個人 60kg級：優勝・2位・3位(2名)、66kg級：2位・3位、  
73kg級：優勝・2位、81kg級：優勝・2位、  
90kg級：3位、100kg級：2位  
女子 女子総合：1位、女子団体：優勝  
団体 1回戦 平田 棄権 浜田、  
準決勝 平田1-1益田東 (内容勝ち)、  
決 勝 平田0-0出雲西 (代表戦で勝利)  
2年ぶり5度目の優勝  
個人 48kg級：2位、52kg級：3位、57kg級：優勝、  
63kg級：優勝、70kg級：4位、78kg級：優勝  
(女子団体および男子個人3名・女子個人3名の優勝者が  
全国高校総体に出場)

## 《卓球部》

男子 団体 2回戦 平田3-1大社、  
3回戦 平田1-3明誠  
ダブルス：ベスト8、シングルス：ベスト16、ベスト32  
女子 女子総合：3位、女子団体：3位  
2回戦 平田3-0安来、3回戦 平田3-1大田、

準決勝 平田1-3出雲西  
ダブルス：ベスト16(2ペア)  
シングルス：ベスト32(6名)

## 《バスケット部》

男子 2回戦 平田117-32益田東  
3回戦 平田45-90益田翔陽  
女子 1回戦 平田121-31島根中央  
2回戦 平田45-92松江商業

## 《バレー部》

男子 1回戦 平田2-0吉賀、2回戦 平田0-2大東  
女子 2回戦 平田0-2矢上

## 《サッカー部》

1回戦 平田0-5松江商業

## 《テニス部》

男子団体 1回戦 平田3-0浜田水産、  
2回戦 平田0-3松江北  
男子個人 ダブルス 2ペア出場、シングルス 4人出場

## 《ソフトテニス部》

女子団体 1回戦 平田2-1大東、  
2回戦 平田0-2出雲商業 女子個人 6ペア出場

## 《登山部》

男子A隊：5位 (12校中)、B隊：7位 (12校中)

## 《水泳同好会》

男子 200m自由形：1位、400m自由形：1位  
女子 100m背泳ぎ：2位、200m背泳ぎ：1位  
(男女とも中国大会に出場)

## 《野球部》

選手権島根県大会 1回戦 平田2-0大東、  
2回戦 平田0-3飯南

## 《吹奏楽部》

吹奏楽コンクール島根県大会 Aの部 銀賞

# お 礼

昨年12月の陸上競技部(女子)の全国  
高等学校駅伝競走大会出場に際しまして  
は、暁星会員の皆様に心温かいご支援並  
びにご寄付をいただき、誠に有難うございました。

また、多くの皆様に寄付活動をしていただきましたこと  
に心よりお礼申し上げます。

今後とも平田高校への変わらぬご支援とご厚情を賜りま  
すようお願いいたします。

## 事務局より

### 人事異動

人事異動により、事務局を支えていただいた平田仁志教諭  
が異動になりました。また、奥野昌明教諭(H2年卒)、安達敦子  
養護教諭(H6年卒)が新たに母校で勤務することとなり、事務  
局が5人体制となりました。経験の浅いものばかりで、何かと  
ご迷惑をおかけいたしますが、よろしく願いたします。

## 進路の状況

進路概況(実数)

	卒業年度	H18年度		H19年度		H20年度	
		現役生	過年度卒	現役生	過年度卒	現役生	過年度卒
入 学 者 数	国立大	19	1	34	5	18	2
	公立大	9	2	9	2	13	
	私立大	63	2	42	4	50	1
	国公立短大	16		16		12	
	私立短大	12		12		7	
	文科省所管外の短期大学校	0		1		2	
	看護学校	13		2		9	1
	その他の専門学校	38		27		22	
	大学校等				1	1	
	計	170	5	143	12	134	4
就 職 者 数	企業	6		3		5	
	公務員	2		3		2	
	計	8		6		7	
未 定	14		9		12		
卒 業 者 数	192	5	158	12	153	4	

平成18年度までは学年5学級、19年度からは4学級。